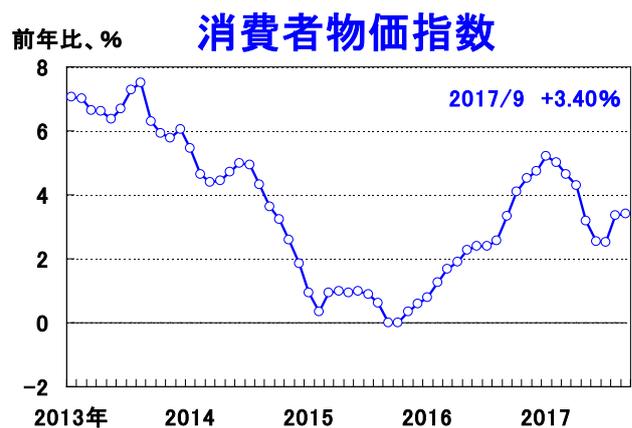
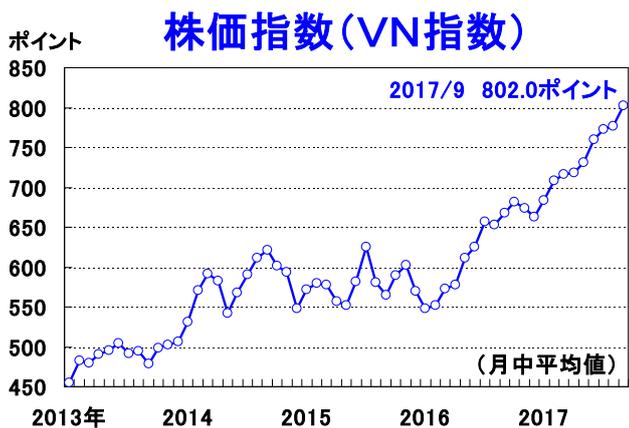
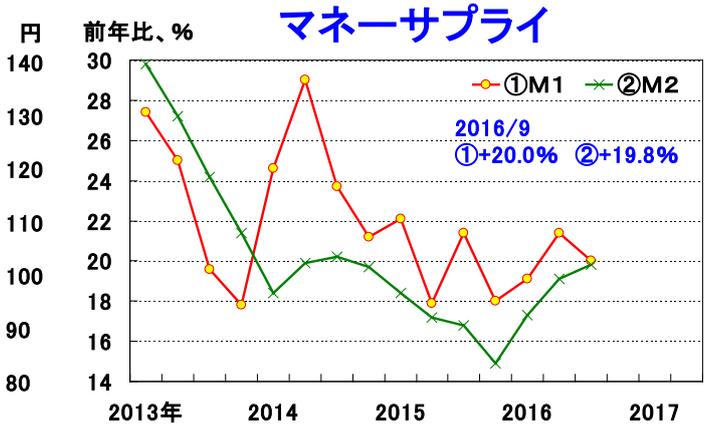
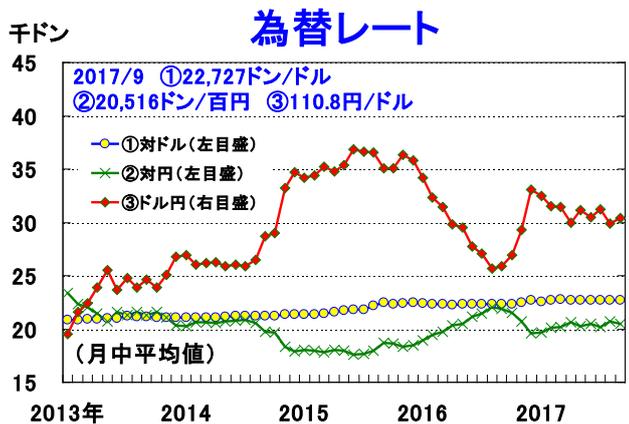
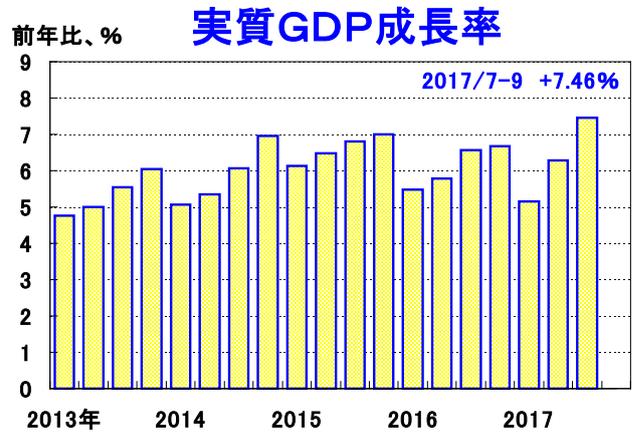
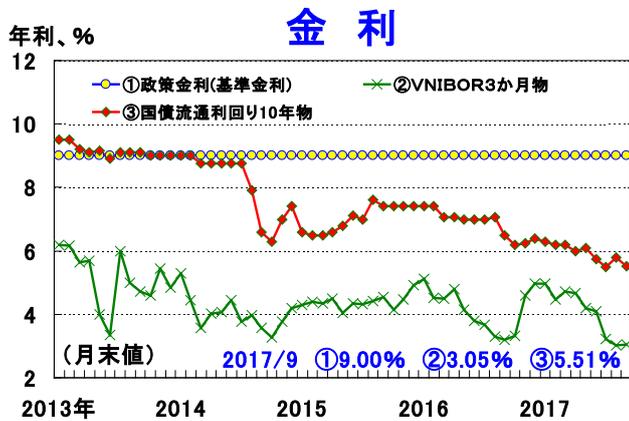


グラフで見るベトナム経済 2017年10月号(No. 93)

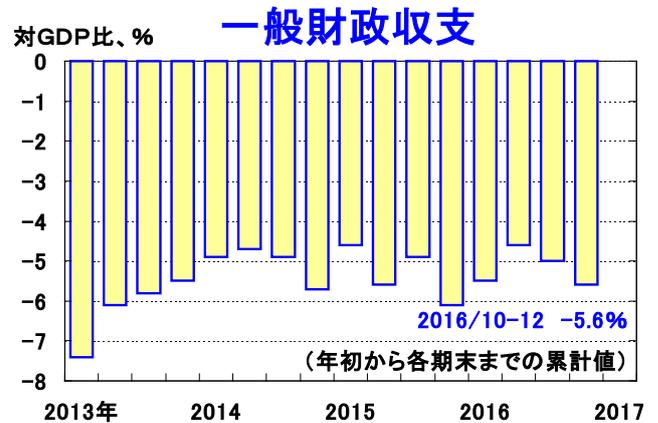
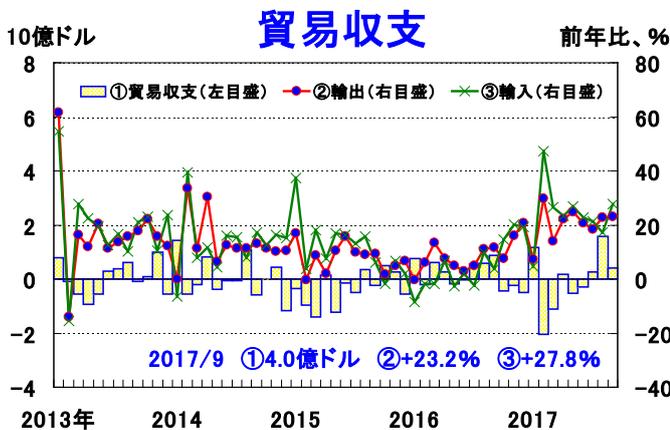
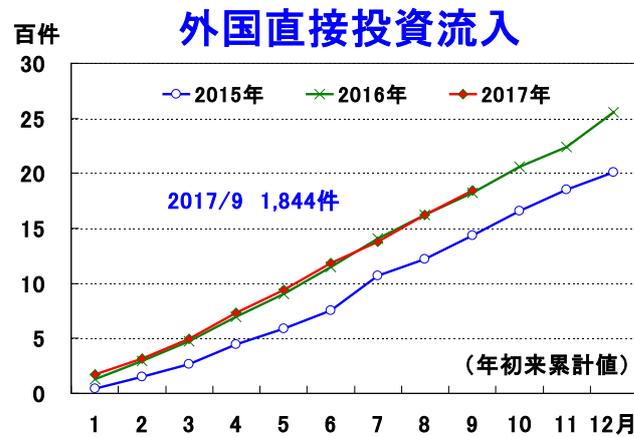
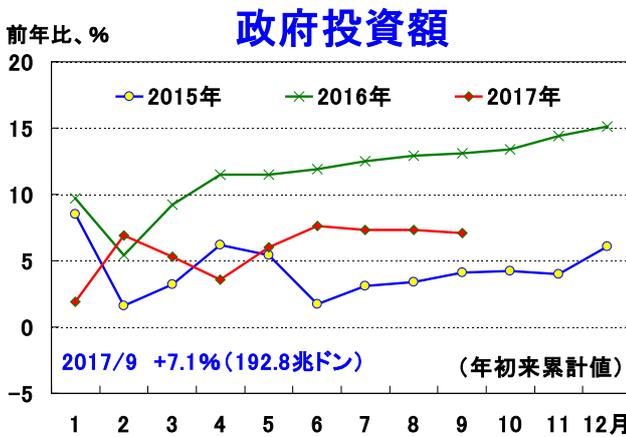
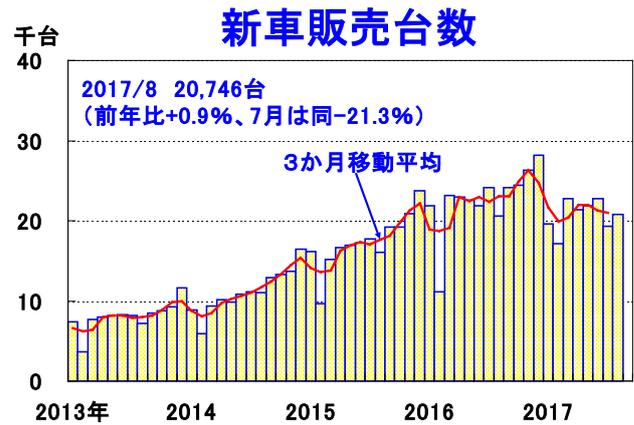
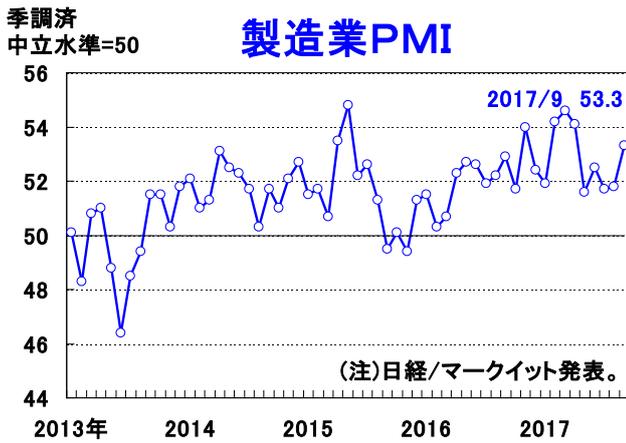
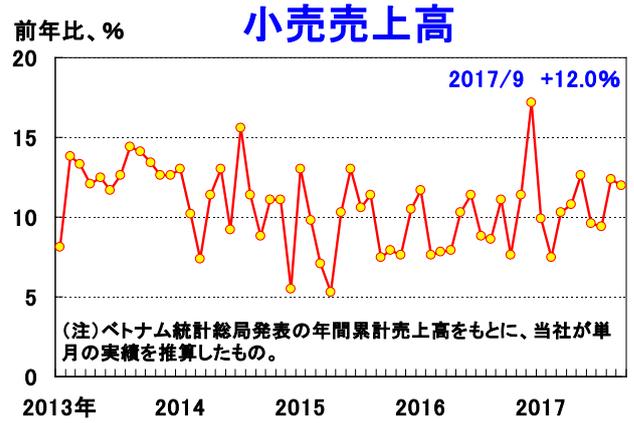
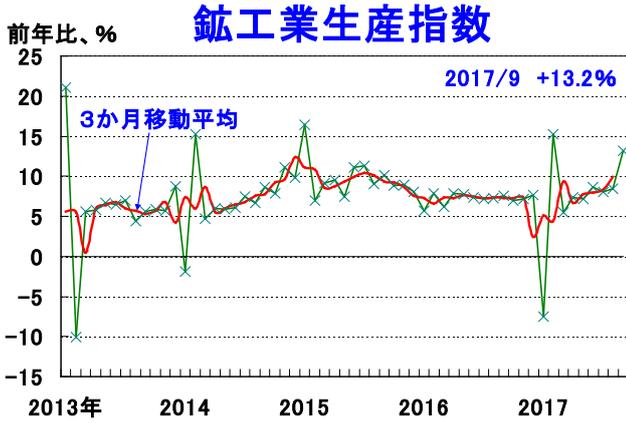
ベトナム景気は回復基調。2017年7～9月期の実質GDP(国内総生産)成長率(推定値)は前年比+7.46%と、第3四半期としてはリーマン・ショック以降最も高い伸び率を記録した。同期内の月次指標をみると、9月の輸出が前年比+23.2%と2か月連続で加速し、また同月の鉱工業生産も同+13.2%と7か月ぶりの高い伸びとなった。9月の製造業PMIは53.3(中立水準は50)と、5か月ぶりの高水準に達し、製造業景況感の改善を示唆している。また、家計部門でも、9月の小売売上高が前年比+12.0%と2か月続けて2桁の伸びを維持した。



【今月のトピック: 拡大するベトナムのコンビニ業界】 ベトナム商工省によると、ベトナムには約1,000軒のコンビニエンスストアがある。ベトナムのコンビニの店舗数は拡大しており、2017年の店舗数は前年比2桁の伸びとなる見込みである。ベトナムでのコンビニ事業は初期投資額が小さいにもかかわらず、他業態に比べると収益率が高い。売り場面積が小さいコンビニは出店規制が緩いこともあって、日本のセブンイレブンや米国のサークルKなどの大手企業による進出が活発化している。ベトナム人消費者は品揃えの豊富なスーパーよりも、必需品が揃い身近にあるコンビニを好む傾向がある模様である。

(出所) ベトナム国家銀行 (SBV)、ベトナム統計総局 (GSO)、CEIC、ブルームバーグ

本レポートの目的は情報の提供であり、何らかの行動を勧誘するものではありません。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用に関してはお客様ご自身で判断くださいますようお願いいたします。本レポートは情報提供のみを目的として浜銀総合研究所・調査部が作成したものであり、横浜銀行との何らかの取引を勧誘するものではありません。



(出所) ベトナム統計総局 (GSO)、ベトナム自動車工業会、ベトナム国家銀行 (SBV)、IMF、CEIC、ブルームバーグ

本レポートの目的は情報の提供であり、何らかの行動を勧誘するものではありません。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用に関してはお客様ご自身で判断くださいますようお願いいたします。本レポートは情報提供のみを目的として浜銀総合研究所・調査部が作成したものであり、横浜銀行との何らかの取引を勧誘するものではありません。